式辞

春爛漫の言葉の通り、木に緑が生え、桜の花が咲き始め、光あふれる季節を迎えました。まさに命の輝きを感じる今日の良き日、ここに令和 7 年度、福井県立敦賀高等学校入学式を挙行するにあたり、PTA 副会長、田中洋平様を始め、ご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、新入生の皆さんを祝福できます事は、この上ない喜びであります。私ども教職員、並びに在校生を代表しまして、心から御礼申し上げます。

ただいま、入学を許可いたしました 215 名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんを令和 7 年度入学生として迎えられることを、在校生、教職員一同本当に嬉しく思います。

さて、新入生の皆さんは、高校入試という、これまでの人生で、おそらく最も大きな壁に向き合い、努力の結果、見事に敦賀高校合格の誉れを勝ち取られました。皆さんのこの努力に敬意を表します。しかし、これはご家族、先生方など、多くの方々に支えられ手にすることができた栄冠でもあります。周囲の方々への感謝と今日の感激を忘れることなく、今日から始まる高校生活において精一杯努力することが、皆さんが果たしていく責任であることを肝に銘じていただきたいと思います。

入学に際し、敦賀高校について紹介します。本校は、1906 年に創立し、県下でも屈指の歴史と伝統を誇る高校です。この学舎を育った同窓生は既に 37,000 人を超え、地域や県内はもとより日本そして世界各地で活躍しています。新入生の皆さんは、その先輩方の高い志を受け継ぐとともに、敦賀高校の新しい歴史を作り出していくということを、まず心に刻んでください。

ここで本日の高校生活開始にあたり、新入生の皆さんに 3 つのエールを送り、お祝いの言葉といたします。

1 つ目は「全力で学ぶ」ことです。皆さんが生きていくこれからの社会は激しい変化と価値観の多様化に満ち、多くの課題が山積しています。それらの課題を解決するためには、あらかじめ決まっている正解にたどりつくだけではなく、正解のない、言い換えれば正解を皆さん自身が作り出さなければならない問題に立ち向かうことが求められます。第一に授業を大切にし、謙虚で素直な姿勢で学んでください。

2 つ目は、「言葉を大切にする」ことです。言葉は凄まじい力を持っています。言葉で人に勇気を与えることも元気付けることもできますが、使い方を誤れば人を傷つけるどころか、生きる力さえ奪うことまであります。また、生成ＡＩであっても言葉を入力しない限り、回答は得られません。皆さんには、言葉の持つ力を十分に意識し、言葉を大切にして、多くの人とつながり、豊かな人間関係を作り上げてください。

３つ目は「挑戦を続ける」ことです。これからの時代、人にはＡＩにできないことが求められます。それは新しい価値創造やイノベーションの創出です。間違うことや失敗を恐れずに、人と違うことこそを大事にすることです。自分の殻を破り、新たなことに挑戦して、これからの新しい時代を生きていく力を身につけてほしいと願っています。

最後になりましたが、本日ご臨席いただいております。保護者の皆様方にご挨拶申し上げます。高いところからではありますが、お子様の敦賀高校ご入学を心よりお祝い申し上げます。本日から私たち教職員一同、お子様一人ひとりの個性に応じた活躍の場を準備し、意欲的な学校生活を送っていただくために、全力を傾注いたす覚悟です。しかし、当然のことながら、教育は学校だけでできるものではありません。学校と家庭がそれぞれの役割を果たしつつ、連携を密にしていくことが重要と存じます。どうか、学校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学びの道の　限りなき　真理の秘奥に　参じきつ

これは本校校歌２番の歌詞です。この歌詞の通り、不確実で混沌とした社会の中でも、常に「正しいこと」「本当の事」は、何かを見極め、誠実に生きていくこと、加えて「高い志」と「探究心」、そして「笑顔」を忘れることなく高校生活を送られることを心から期待して、式辞といたします。

令和７年４月７日

福井県立敦賀高等学校長　橋本有司